



I 第20週の発生動向 (2018/5/14~2018/5/20)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
3. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 手足口病については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に弘前保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
5. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が前週の1.40から2.40に増加し、注意報レベルの基準値(3)に近づいています。
6. 流行性角結膜炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。

II 第20週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	15	1.15	15	1.00	2	0.13			11	1.22	1	0.17	44	0.68	-39
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	4	0.44									8	0.19	2
	咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.11	3	0.30	2	0.40					9	0.21	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	10	1.11	33	3.30	8	1.60	30	5.00	5	1.25	94	2.24	28
	感染性胃腸炎	66	8.25	53	5.89	63	6.30	56	11.20	30	5.00	30	7.50	298	7.10	23
	水痘	1	0.13	1	0.11					1	0.17			3	0.07	-14
	手足口病			14	1.56	1	0.10			1	0.17	1	0.25	17	0.40	-1
	伝染性紅斑			1	0.11					1	0.17			2	0.05	1
	突発性発しん	3	0.38	5	0.56	5	0.50			4	0.67	3	0.75	20	0.48	-1
ヘルパンギーナ															0	
	流行性耳下腺炎			2	0.22	24	2.40			12	2.00			38	0.90	13
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					2	1.00	2	2.00	2	1.00			6	0.55	-2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.00			1	1.00	2	2.00	4	0.67	1
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	-3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

手足口病 (五類定点把握対象疾患)

手足口病は、主にコクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71 などを病原体とするウイルス性感染症です。複数の種類の病原体があるため、何度もかかる可能性があります。

手足口病の症状は、感染して3~5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2~3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1に見られますが、あまり高くなり(38℃以下)、ほとんどの発症者は数日中に治ります。

手足口病は子どもを中心に夏に流行する感染症で、青森県の過去5年間(2013年~2017年)の定点当たり報告数の推移では、第35週(8月下旬)頃に発生のピークが認められています(図)。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、特にこの病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。感染対策は、接触感染を予防するためにしっかりと手洗いをする事と、排泄物を適切に処理することです。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [手足口病に関するQ&A \(厚生労働省 HP\)](#)

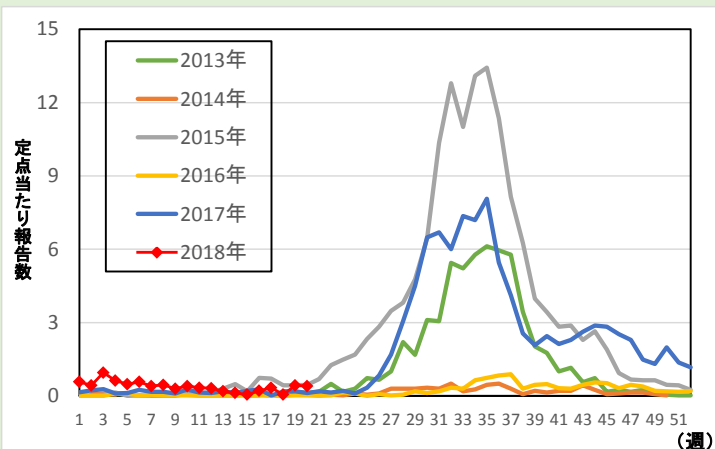


図: 青森県における定点当たり報告数推移 (2013年~2018年第20週現在)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：三戸地方1人、弘前2人、上十三1人、むつ1人（2018年計：71人）
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：青森市1人（2018年計：1人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2018年計：9人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2018年計：7人）
- ・水痘（入院例に限る）（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2018年計：2人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第13週～2018年第20週）

- ・第20週の患者報告数は44人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは44人【A型：37人、B型：7人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	13	14	15	16	17	18	19	20
東地方+青森市	114	79	77	78	33	18	19	15
弘前	111	94	126	90	60	47	24	15
三戸地方+八戸市	100	43	30	29	17	14	6	2
五所川原	87	91	130	58	36	22	7	0
上十三	110	54	75	114	73	44	25	11
むつ	31	23	20	24	22	12	2	1
合計	553	384	458	393	241	157	83	44

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	13	14	15	16	17	18	19	20
東地方+青森市	72	46	51	65	26	7	15	14
弘前	69	65	102	81	51	43	21	12
三戸地方+八戸市	37	15	13	12	11	6	5	2
五所川原	52	73	103	42	23	19	6	0
上十三	48	22	31	43	27	26	17	8
むつ	14	21	14	20	18	6	2	1
合計	292	242	314	263	156	107	66	37

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	13	14	15	16	17	18	19	20
東地方+青森市	41	33	25	13	7	11	4	1
弘前	42	29	24	9	9	4	3	3
三戸地方+八戸市	61	28	16	16	6	8	1	0
五所川原	35	18	27	16	13	3	1	0
上十三	61	29	43	68	45	18	8	3
むつ	16	2	5	1	4	5	0	0
合計	256	139	140	123	84	49	17	7

年齢区分別(人)

年齢区分	13	14	15	16	17	18	19	20
～5ヶ月	3	2	0	1	1	1	0	0
～11ヶ月	4	9	4	10	2	1	1	1
1歳	19	17	26	25	9	4	3	0
2歳	18	10	21	14	12	7	7	4
3歳	15	16	41	21	5	7	1	2
4歳	21	20	31	21	9	11	0	0
5歳	31	26	35	18	6	2	2	1
6歳	28	16	14	18	13	4	2	1
7歳	27	11	20	16	9	4	5	1
8歳	19	0	9	13	7	4	0	0
9歳	18	10	6	7	5	3	5	2
10～14歳	53	22	36	35	41	20	5	4
15～19歳	16	13	14	23	11	10	6	4
20～29歳	21	26	19	20	7	5	6	4
30～39歳	33	29	34	23	18	17	11	2
40～49歳	48	34	26	22	24	15	6	2
50～59歳	44	27	28	22	18	17	5	6
60～69歳	61	22	30	34	17	11	5	4
70～79歳	32	31	21	13	8	6	4	1
80歳以上	42	43	43	37	19	8	9	5

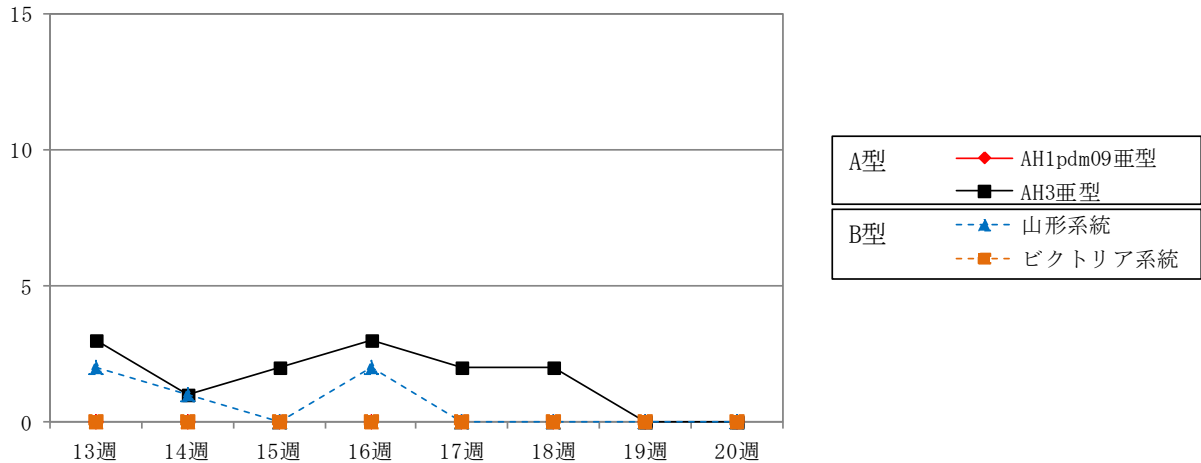
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018								直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計
		13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週		
提出検体数		5	2	3	6	2	2	0	0	10	107
検出 状況	A型	AH1pdm09亜型								0	14
		AH3亜型	3	1	2	3	2	2		7	44
	B型	山形系統	2	1		2				2	35
		ビクトリア系統								0	0
合計		5	2	2	5	2	2	0	0	9	93

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第17週～2018年第20週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
17	H30.4.23 ~ H30.4.29			梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		
18	H30.4.30 ~ H30.5.6						
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	百日咳1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
20	H30.5.14 ~ H30.5.20	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	侵袭性肺炎球菌感 染症1人 水痘(入院例)1人				

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第17週～2018年第20週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
17	H30.4.23 ~ H30.4.29		1		1		1
18	H30.4.30 ~ H30.5.6	1		1			
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	1	3	2			
20	H30.5.14 ~ H30.5.20		2	1		1	1

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第19週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	7405	2	69	319	17	9	144	262	3	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	1	17	58	35	29	1	2	15	376	282

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	61	576	3	305	6	70	305	425	28	174

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	15	1527	144	2157	62	26	16	1380	17	149

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	7

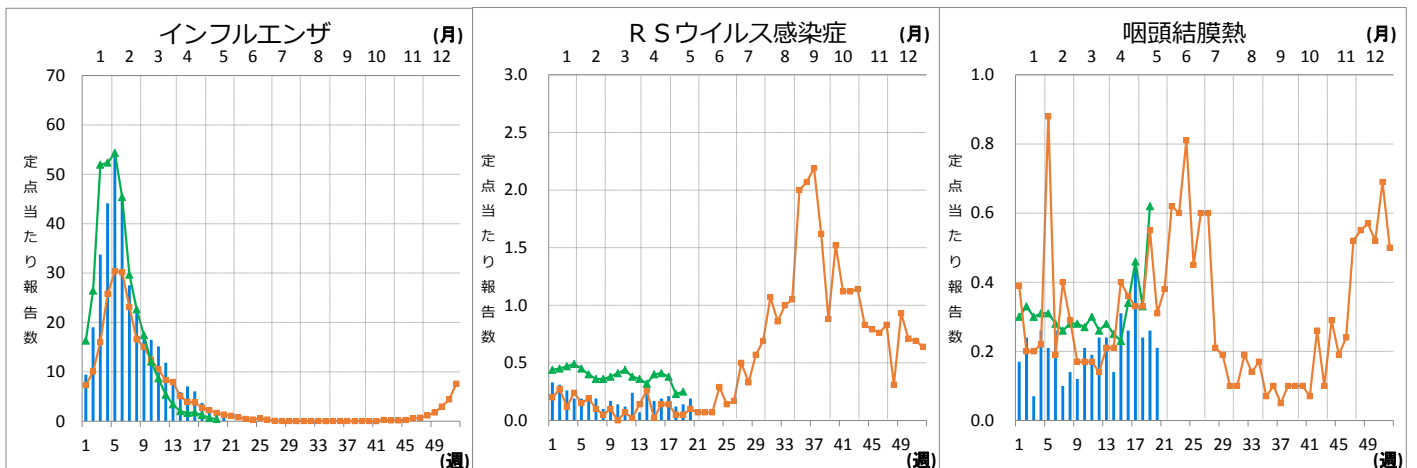
青森県（2018年第1週～2018年第20週までの累計）

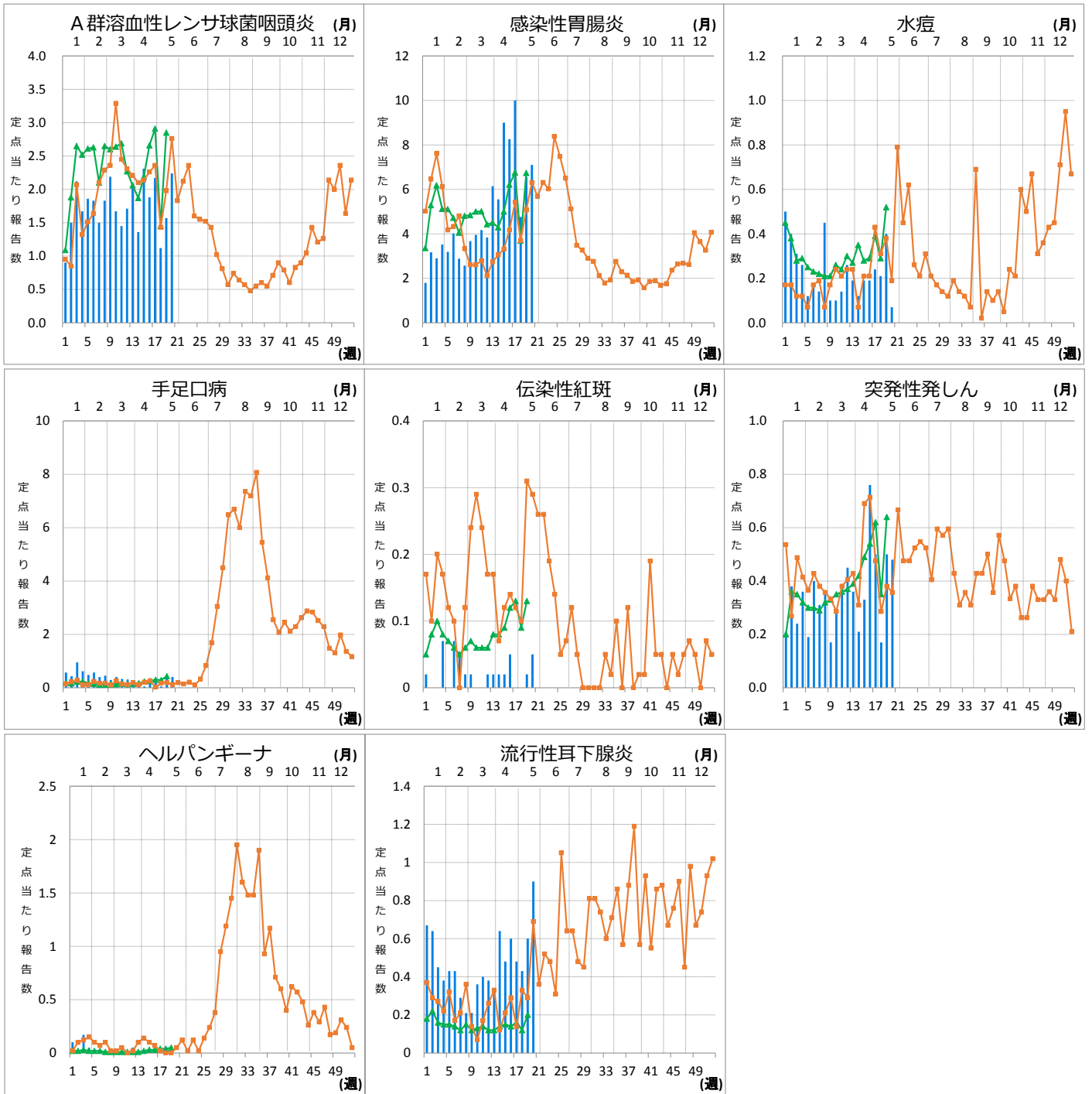
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	71	3	3	1	1	2	1	9	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	2	2	7	2	15	2	15

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第20週、ただし全国は前週）

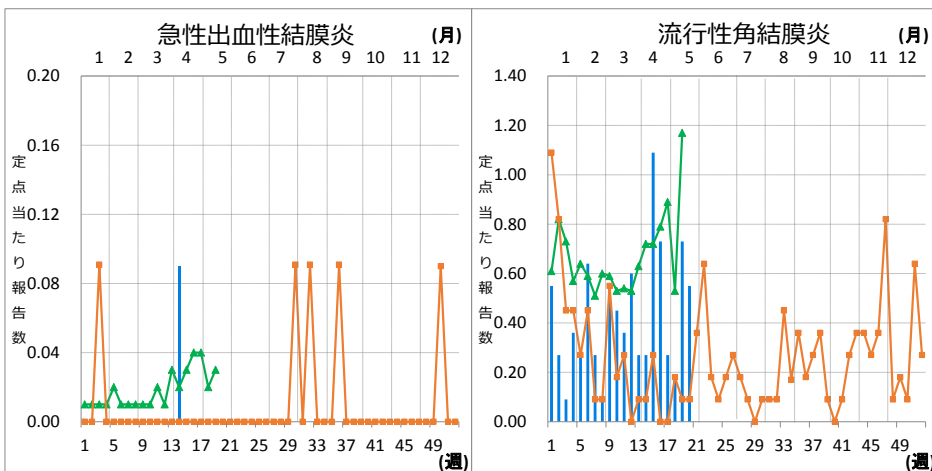
グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国





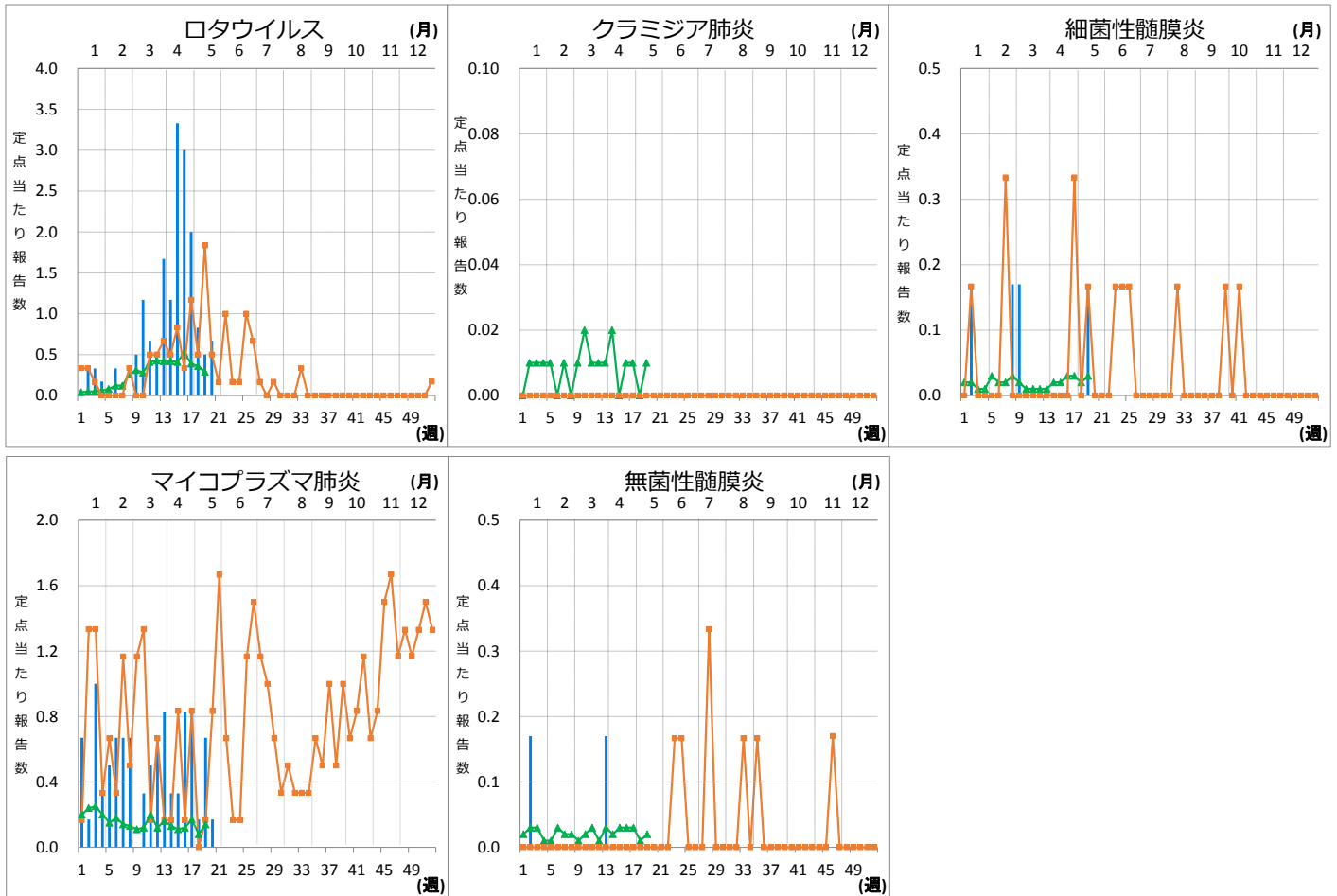
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第20週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第20週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第20週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第20週	児童・婦人関係施設等	11	青森市保健所
第20週	児童・婦人関係施設等	10	五所川原保健所

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月							計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18週	19週	20週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	0	0	2	6
	発症者数	0	0	0	56	0	0	21	77
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	0	0	2	12
	発症者数	56	15	36	56	0	0	21	184